

第 112 回広島がん治療研究会 プログラム

日時：平成 30 年 9 月 22 日（土）午後 1 時より
場所：広島市南区霞 1-2-3 広島大学 広仁会館

1. 口演および討論時間

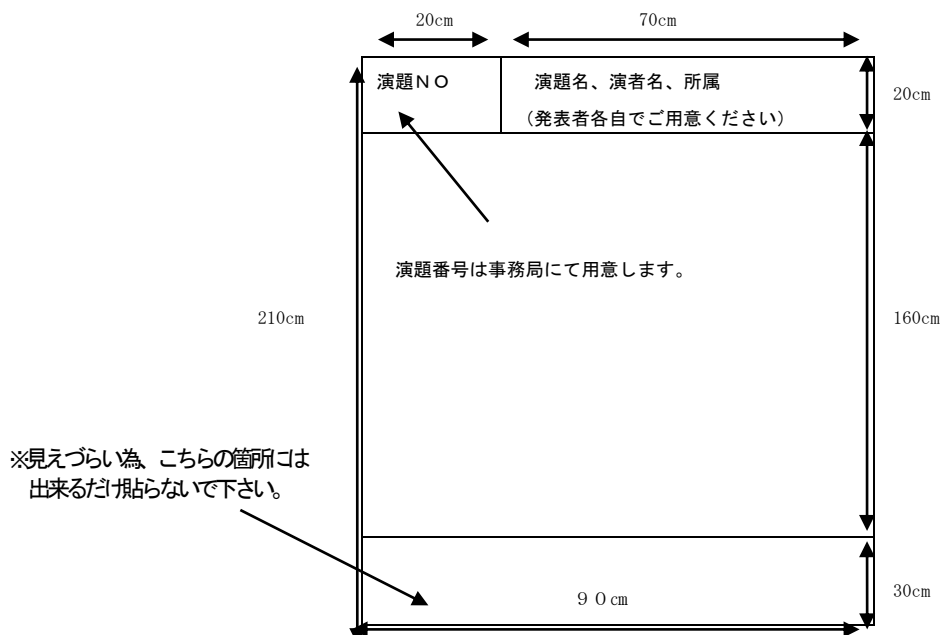
- ・セミナー（大会議室） 口演時間 50 分（質疑応答を含む）
- ・シンポジウム（大会議室） 口演時間 6 分 討論 3 分（時間厳守）
- ・ポスター発表（中会議室） 口演時間 5 分 討論 3 分（時間厳守）

2. 口演発表の方へ

- ・PC プレゼンテーションのみで、液晶プロジェクターのみをご用意します。
- ・会場には OS:Windows10、Microsoft Powerpoint2016 インストール済みのノートパソコンをご用意致します。ファイルのみお持ちいただく場合は、USB メモリでお願いします。Macintosh をお使いの方は、ご自身のパソコンにてプレゼンテーションを行ってください。MiniD-sub15 ピンに対応したインターフェースも併せてご用意ください。尚、環境が異なることにより、思った通りの表示がされない可能性があることにご留意ください。
- ・接続確認・ファイル受付・試写は、研究会の開始前（12時00分から12時50分まで）に行います。受付に係がいますので、早めにお越しいただき、コピーと映写確認をお願いします。時間内にファイル受付ができなかった場合、研究会開始後ファイル受付を行いますが、正しく表示されない可能性があることを、ご了承ください。

ポスター発表の方へ

- ・各演題のポスターパネル、掲示用のセロテープ、演題番号（プログラム番号）は事務局にてご用意いたします。貼付時間は12時30分から15時30分まで、撤去時間は17時から19時となります。



3. **口演発表およびポスター発表の方へ**

- ・200字以内の抄録を**8月18日(土)**までに、事務局 (hganchi@hiroshima-u.ac.jp) にご提出ください。期日までにご提出いただけない場合には、「広島医学」への掲載が不可能になる場合があります。

	大会議室 (2F)	中会議室 (1F)
13:00	開会の辞	
13:05~13:55	ランチョンセミナー	
14:00~14:50	アフタヌーンセミナー	
14:55~15:50	シンポジウム	
16:00~16:55		ポスター発表 P1・P2・P3・P4・P5
17:05~17:55	周術期管理セミナー	
17:55~18:45	イブニングセミナー	
18:45	閉会の辞	
18:50~		意見交換会 Award授与式

4. **一般演題・ポスター座長の皆様へ**

- ・担当セッション開始15分前までに会場にお越しいただき、受付にお声かけいただきますようお願い申し上げます。

5. 入会をご希望の方は当日受け付けます (会費の納入は振り込み用紙にてお願いいたします)。

※ 年会費 勤務医 3,000円
開業医 5,000円

事務局：
広島大学大学院医歯薬保健学研究科
消化器・移植外科学 (旧第二外科)
TEL:082-257-5222 FAX:082-257-5224

13:00 開会の辞 会長 大段 秀樹

13:05~13:55 ランチョンセミナー (カリキュラムコード No, 81) 座長 服部 登
(広島大学大学院医歯薬保健学研究科 分子内科学 教授)
『ヒトがんにおける免疫監視機構』
講師 大植 祥弘
(国立がん研究センター 先端医療開発センター
免疫トランスレーショナルリサーチ (TR) 分野 ユニット長)

共催: 小野薬品工業株式会社
ブリistol・マイヤーズスクイブ株式会社

14:00~14:50 アフタヌーンセミナー (カリキュラムコード No, 74) 座長 平林 直樹
(広島市立安佐市民病院 院長)

『進行胃がんの化学療法~上手に"つなぐ"ために~』
講師 今村 博司

(大阪市立豊中病院 外科部長)

共催: 日本イーライリリー株式会社

14:50~14:55 ★:・'° ☆° '・:*: 休憩 ★° '・:*:.。 ☆:.*:・★° '・:*:.。 ☆:.*:

14:55~15:50 シンポジウム

座長 杉山 一彦
(広島大学病院 がん化学療法科)
大上 直秀
(広島大学 分子病理学教室)

01-1. 大腸 T1 癌に対する ESD は追加外科手術後の患者予後に影響を与えるか?

広島消化管内視鏡リサーチグループ

山下 賢、田中信治、岡 志郎、永田信二、平賀裕子、桑井寿雄、
古土井明、田村忠正、國弘真己、岡信秀治、中土井鋼一、金尾浩幸、
東山 真、田丸弓弦、有廣光司、倉岡和矢、嶋本文雄、茶山一彰

01-2. 臨床病期Ⅲ期以下の上部尿路上皮癌における病理学的リンパ節転移の術前予測因子

1. 広島大学病院 泌尿器科
2. 広島大学病院 放射線診断科
3. 県立広島病院 泌尿器科

畑山智哉¹、林哲太郎¹、井上省吾¹、神明俊輔¹、本田有紀子²、
小羽田悠貴³、後藤景介¹、福岡憲一郎¹、稗田圭介¹、亭島 淳¹、
栗井和夫²、松原昭郎¹

01-3. 10 個以上の大腸癌多発肝転移において、R0 手術が可能であったグループの検討

県立広島病院 消化器・乳腺・移植外科

難波洋介、大下彰彦、安達智洋、池田 聡、中原英樹、板本敏行

01-4. 遺伝子診察室の立ち上げと遺伝性乳癌卵巣癌 (HBOC) 一次拾い上げの実際

1. 県立広島病院 消化器・乳腺・移植外科
2. 県立広島病院 生殖医療科

野間 翠¹、松浦一生¹、田所剛志¹、長ヶ原一也¹、梶原遼太郎¹、
難波洋介¹、安達智洋¹、堀田龍一¹、大下彰彦¹、池田 聡¹、
中原英樹¹、眞次康弘¹、漆原 貴¹、板本敏行¹、原 鐵晃²

01-5. 胃癌細胞のスフェロイド形成における Desmoglein1 (DSG1) の重要性

1. 広島大学大学院 分子病理学研究室
2. 広島大学大学院 消化器・移植外科学

山本悠司^{1, 2}、大上直秀¹、浅井竜一¹、坂本直也¹、仙谷和弘¹
田邊和照²、大段秀樹²、安井 弥¹

01-6. 次世代シーケンス解析を用いた食道癌バイオマーカーとなる血中 small RNA の探索

1. 広島大学病院 腫瘍外科
2. 広島大学 細胞分子生物学研究室

伊富貴雄太¹、上田大介¹、厚井裕三子¹、西山友希恵²、浜井洋一¹、
恵美 学¹、田原栄俊²、岡田守人¹

16:00~16:55 ポスター発表 P1

座 長 土井 美帆子

(県立広島病院 臨床腫瘍科)

P1-1. Oral uracil-tegafur plus leucovorin 療法による大腸癌術後補助化学療法中に、
難治性腸炎を発症し小腸切除を要した1例

広島市民病院 外科

今岡洗輝、住谷大輔、吉満政義、井谷史嗣、原野雅生、中野敢友、
國友知義、松原啓壮、藤井悠花、三島頭人、藤田脩斗、吉田弥正、
谷 悠真、久保田哲史、石田道拓、佐藤太祐、丁田泰宏、
松川啓義、塩崎滋弘、岡島正純

P1-2. 化学放射線療法で完全奏効が得られた肛門管扁平上皮癌の1例

広島赤十字・原爆病院 外科

坂本愛子、山口将平、枝廣圭太郎、王 歆林、今井大祐、枝川 真、
竹中朋祐、大峰高広、小西晃造、前田貴司、筒井信一、松田裕之

P1-3. 血液透析患者の乳癌再発に対して、抗がん剤治療で寛解を得られた1例

JA 吉田総合病院 外科

武智 瞳、柳川泉一郎、好中久晶、竹井大祐、丹治英裕、児玉真也、
住元一夫

P1-4. 切除不能進行再発大腸癌の二次治療以降における Ramucirumab+FOLFIRI 療法の治療経験

1. 広島大学病院 消化器・移植外科
2. 広島大学 医学部附属医学教育センター

佐藤幸毅¹、恵木浩之¹、寿美裕介¹、向井正一郎¹、河内雅年¹、
佐田春樹¹、田口和浩¹、中島一記¹、赤羽慎太郎¹、服部 稔²、
大段秀樹¹

P1-5. 腎細胞癌脳転移と鑑別が困難であった von Hippel-Lindau 病に伴う小脳血管芽腫の1例

1. 広島大学病院 脳神経外科
2. 広島大学病院 がん化学療法科

米澤 潮¹、山崎文之¹、高安武志¹、高野元気¹、栗栖薫¹
杉山一彦²

P1-6. 慢性 DIC を併発したびまん性肝転移を有する神経内分泌腫瘍の一治療例

1. 県立広島病院 臨床腫瘍科
2. 広島大学病院 血液内科

藤井康智¹、山根宏昭¹、土井美帆子¹、篠崎勝則¹、森岡健彦²

16:00~16:55 ポスター発表 P2

座 長 林 哲太郎

(広島大学大学院 腎泌尿器科科学)

P2-1. ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術における ERAS(術後回復力強化プログラム)の効果

広島大学病院 泌尿器科

向井桜子、武藤雅幸、志熊紘行、畑山智哉、韓 向鋭、宮本俊輔、
馬場崎隆志、藤井慎介、福岡憲一郎、定秀孝介、上野剛志、
稗田圭介、神明俊輔、井上省吾、林哲太郎、亭島 淳、松原昭郎

P2-2. 早期胃癌に対する腹腔鏡下幽門保存胃切除術後にポートサイト再発を疑った1例

JA 尾道総合病院 外科

箱田啓志、藤國宣明、中原雅浩、天野尋暢、安部智之、山木 実、
佐々田達成、奥田 浩、平田文宏、矢野琢也、別木智昭、廣畑良輔、
則行敏生

P2-3. 当科での腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術の導入について

広島大学病院 産婦人科

関根仁樹、野坂 豪、古宇家正、平田英司、工藤美樹

P2-4. 腹腔鏡およびロボット支援前立腺全摘除術における感染性リンパ嚢腫の検証

安佐市民病院 泌尿器科

村田大城、野村直史、望月英樹、三田耕司

P2-5. 当院における腹腔鏡下幽門側胃切除術の定型化と工夫

県立広島病院 消化器・乳腺・移植外科

梶原遼太郎、堀田龍一、漆原 貴、田所剛志、長ヶ原一也、
難波洋介、安達智洋、森本博司、野間 翠、松浦一生、大下彰彦、
札幌保宏、池田 聡、石本達郎、眞次康弘、中原英樹、板本敏行

P2-6. 胃癌 ESD 後追加切除症例の検討

広島大学病院 消化器・移植外科

齊藤竜助、太田浩志、山本悠司、佐伯吉弘、田邊和照、大段秀樹

16:00~16:55

ポスター発表 P3

座 長 安部 智之

(JA 尾道総合病院 外科)

P3-1. 子宮類内膜癌術後リンパ節再発に対する IG-VMAT

1. 広島平和クリニック高精度がん放射線治療センター
2. 広島平和クリニックがんドック先端医療健診センター
3. 福山医療センター放射線治療科

赤木由紀夫¹、小山 矩¹、廣川 裕²、兼安祐子³

P3-2. 当院におけるレンバチニブの初期使用経験

広島大学病院 消化器・代謝内科

山岡賢治、河岡友和、相方 浩

P3-3. 当院の甲状腺癌に対するリンパ節郭清の現状

1. JR 広島病院 外科
2. JR 広島病院 臨床検査科

矢野将嗣¹、吉田 誠¹、大城望史¹、福田敏勝¹、越智 誠¹、
岡本有三¹、小野栄治¹、中山宏文²

P3-4. 放射線療法後に上咽頭出血をきたした症例の検討

広島大学 耳鼻咽喉学・頭頸部外科学

古家裕巳、服部貴好、築家伸幸、河野崇志、樽谷貴之、濱本隆夫、
上田 勉、竹野幸夫

P3-5. 肝細胞癌における予後指標としての全身性炎症反応マーカーの検証

広島大学病院 消化器・移植外科

山本将輝、小林 剛、黒田慎太郎、濱岡道則、山口恵美、本明慈彦、
沖本 将、大段秀樹

P3-6. 進行食道癌による食道穿孔に対してバイパス術を施行した2例

広島大学病院 腫瘍外科

平井裕也、浜井洋一、恵美 学、伊富貴雄太、上垣内篤、岡田守人

16:00~16:55 ポスター発表 P4

座 長 盛生 慶

(広島大学大学院 消化器・代謝内科学)

P4-1. 術前診断が困難であった肝細胞癌と転移性肝腫瘍の同時重複の1例

県立広島病院 消化器・乳腺・移植外科

田所剛志、中原英樹、板本敏行

P4-2. B4 胆管腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対して術前減黄が奏効した1例

東広島医療センター 外科

渡邊淳弘、大森一郎、井上雅史、梶川隆治郎、唐口望実、齊藤保文、
宮本和明、池田昌博、豊田和広、貞本誠治、高橋忠照

P4-3. 孤発性腹壁転移を来した肉腫様肝内胆管癌の1例

広島大学病院 消化器・移植外科

小野紘輔、濱岡道則、小林 剛、井手健太郎、大平真裕、田原裕之、
黒田慎太郎、橋本慎二、清水誠一、大段秀樹

P4-4. 総胆管に穿破し閉塞性黄疸を併発した IPMC の1例

1. 安佐市民病院 外科

2. 安佐市民病院 病理診断科

河毛利顕¹、大石幸一¹、小橋俊彦¹、伊崎 悠¹、倉岡憲正¹、
山北伊知子¹、三口真司¹、下村 学¹、青木義朗¹、中島 亨¹
加納幹浩¹、徳本憲昭¹、檜原 淳¹、船越真人¹、向田秀則¹
金子真弓²、平林直樹¹

P4-5. 区域性肝内胆管拡張を呈した大腸癌肝転移の2例

呉医療センター・中国がんセンター 外科

久保田晴菜、首藤 毅、清水洋祐、羽田野直人、井出隆太、
平昭吉野、田澤宏文、清水 亘、鈴木崇久、石山宏平、尾上隆司、
檜井孝夫、田代裕尊

P4-6. 術前に胆管内乳頭状腫瘍 (IPNB) と診断し切除を行った2例

中国労災病院 外科

石川 聖、福田三郎、福原宗太朗、志々田将幸、甲斐あずさ、
高畑明寛、澤田紘幸、平田雄三、藤崎成至、高橋 護、先本秀人

16:00~16:55 ポスター発表 P5

座 長 渡谷 祐介

(広島大学大学院 外科学)

P5-1. 下部直腸癌に対する2チーム taTME の導入

JA 尾道総合病院 外科

矢野琢也、中原雅浩、奥田 浩、別木智昭、廣畑良輔、箱田哲志、
藤國宣明、安部智之、山木 実、佐々田達成、天野尋暢、則行敏生

P5-2. 術後9年目に肝再発を来した直腸癌の1例

広島大学 外科学

上神慎之介、向田敦史、矢野雷太、渡台祐介、上村健一郎、村上義昭、大毛宏喜、末田泰二郎

P5-3. 潰瘍性大腸炎に対する結腸全摘・回腸人工肛門造設術の

術後17年目に発症した残存直腸癌の1例

安佐市民病院 外科

倉岡憲正、三口真司、下村 学、河毛利顕、山北伊知子、花木英明、中島 亨、加納幹浩、徳本憲昭、大石幸一、小橋俊彦、檜原 淳、船越真人、向田秀則、平林直樹

P5-4. StageIV右側大腸癌と左側大腸癌における治療別の検討について

県立広島病院 消化器・乳腺・移植外科

中島匠平、安達智洋、池田 聡、長ヶ原一也、田所剛志、梶原遼太郎、難波洋介、森本博司、堀田龍一、野間 翠、松浦一生、大下彰彦、札幌保宏、眞次康弘、石本達郎、中原英樹、漆原 貴、板本敏行

P5-5. 70歳以上の高齢者と80歳以上の超高齢者大腸癌における予後の検討

県立広島病院 消化器・乳腺・移植外科

前田祐吾、安達智洋、池田 聡、長ヶ原一也、田所剛志、梶原遼太郎、難波洋介、森本博司、堀田龍一、野間 翠、松浦一生、大下彰彦、札幌保宏、眞次康弘、石本達郎、中原英樹、漆原 貴、板本敏行

P5-6. 腸重積を契機に発見され待機的手術を行った上行結腸癌の1例

中国労災病院 外科

進藤源太郎、平田雄三、石川 聖、甲斐あずさ、高畑明寛、福原宗太郎、澤田紘幸、志々田将幸、藤崎成至、福田三郎、高橋 護、先本秀人

17:05~17:55 周術期管理セミナー (カリキュラムコードNo, 16) 座長 末田 泰二郎
(広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 外科学 教授)

『術後疼痛管理が術後の回復と手術部位感染に果たす役割～重症感染症を招かないための対策～』

講師 濱田 宏

(広島大学大学院 麻酔蘇生学 准教授)

共催：一般社団法人日本血液製剤機構

17:55~18:45 イブニングセミナー (カリキュラムコードNo, 54) 座長 大段 秀樹
(広島大学大学院医歯薬保健学研究科 消化器・移植外科学 教授)

『進行再発大腸癌に対する治療最前線 ～今どうする、これからどうなる?～』

講師 久保木 恭利

(国立がんセンター東病院 消化管内科)

共催：バイエル薬品株式会社

18:45 閉会の辞 会長 大段 秀樹

18:50 意見交換会 (中会議室)

Award 授与式